



せいひ会だより

2013年(平成25年)
4月1日発行
<第156号>
社会福祉法人せいひ会
<http://www.seihikai.jp/>



例年よりも開花が早かった今年の桜。
元亀の里入口にある桜も、みごとな花を咲かせました。
少し肌寒かったものの、おやつを食べたり歌を歌ったりと、満開の桜の木の下でお花見を楽しんだ皆さん。
「来年もまたみんなで桜を見ようね」と、利用者の皆さんにも笑顔の花が咲きました。

3月の行事

- 2日 ひな祭り(通所・じゅげむ)
- 3日 ひな祭り(GH・風和・寿限無)
- 6日・20日 書道教室(元亀・通所・丘の家・GH)
- 11日 陶芸教室(通所)
- 13日 夜間想定消防訓練(寿限無)
- 18日 誕生会(元亀・通所)
- 22日 消火訓練(風和)



4月の行事予定

- 1日 年初式
- 3日・17日 書道教室(元亀・通所・丘の家・GH)
- 8日 陶芸教室(通所)
- 15日 誕生会(元亀・通所)



☆3月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます☆



今日は生活支援ハウス丘の家：田添ツル様にお話を伺いました。

昭和2年、西彼町白似田郷に7人兄弟の末っ子として生まれる。「姉達とは年が離れとて、甘やかされて育ちました」と話される。

白似田小学校、亀岳の尋常高等学校に入学。「運動は苦手でしたけど、勉強は好きでした」とのこと。その当時はまだ着物を着ていて、二里程歩いて通ったが、学校に行くのは楽しかったそうだ。

家は百姓で、卒業後は家の手伝いをよくしていた。
30歳の頃結婚し大村に住んだ。二人の子供に恵まれ、漁師の夫と一緒にナマコを捕ったり、たたき網漁をして

生計を立てていた。「魚が沢山捕れた時は嬉しかった」
そうだ。

夫が46歳で亡くなり、行商をしながら子供を育てた。
「大変でしたけど、行商の時は人と触れ合うのが樂しみでした」とのこと。

娘が結婚し、西彼町に住むようになってから丘の家へ入居される。通所リハビリに通うようになってからは同級生に再会することも多く、昔を思い出しながら語ることが一番の樂しみのようだ。「身の回りのことが自分でできるうちは頑張っていきたい」と話されていた。

お誕生日おめでとうございます。

Vitality Space

バイリティースペース

「Vitality」とは、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味があります。せいひ会を利用される皆さんの中には、このバタリティの力にあふれています。その活動を紹介するコーナーです。

うたの時間

四季

春
夏
秋
冬

山河

山
河

元亀 長沼栄子

風和 南 アサヨ

春雨

春
雨

春雨

春
雨

じゅげむ 岩本アキヨ

通所 竹下昌子

(絵) 風和 松山萬枝

【梨】



【タケノコ】



【蝋梅】



GH



3/9、翠風前の畑にじゃがいもが植えられました。
きれいに耕された畑に並べられた種イモたち。
じゃがいもは、根をしっかりと張らせることが、
収穫量のアップにつながるそうです。
豊作を期待しています！



寿限無

夜間想定消防訓練



3/13寿限無において、夜間を想定した消防訓練を行いました。長崎北消防署の方々の立ち会いもあり、職員にも緊張した表情が見られましたが、訓練を重ね緊急時に備える重要さも理解しました。

じゅげむ



GH



久しづびりの着物を着て、
はいポーズ！
お化粧もバッチリです。

桃の節句

3/3はひな祭り。各事業所の
「おひなさま」達の様子です。



寿限無



みんなで桜餅を手作り。色も鮮やか、味も言うことなし！お茶と共においしくいただきました。



通所



風和



ケアマネ 敏美 の独り言

嬉しい再会

とある日曜日、部屋の整理をしていたら、懐かしい本が押入れの奥から出てきた。もう30数年前の本であるが、自分にとっては『宝物』であった。てっきり無くしてしまった物として諦めていた本である。すごく嬉しくて、部屋の整理はもちろん中断！！その場で読みふけってしまった。読んでいくうちに昔のことがフラッシュバックしていく。当然、熱いものが込み上ってきた。やんちゃな時代、この本に書かれてある内容にすごく影響を受けた。今の自分の基本になっている。一番衝撃を受けたのが、

「かっこ悪いことはなんてカッコいいんだろう」というくだり。若い頃は「カッコいい部分」にばかり目が行き「カッコ悪いこと=恥ずかしいこと」だと思っていた。このフレーズを目にした時から、明ら

かに自分の中で革命が起きたのを覚えている。それからは、徐々にではあるが「目配り・気配り」ひいては「心配り」ができるようになったと思っている。(充分とはいえないが・・・) また、よくよく見比べてみると、自分のバイブルとして何度も読み返している、別の本にも同じ意味のことが書かれている。著者は全く別ジャンルの方。なのに、同じ意味の文章が多く、日本男児として考えること・目指すところは一緒なんだと改めて痛感した。この本が突如出てきたタイミングも自分の中ではすごいこと。(神様の仕業!?)

疲れ切った自分に「充電」でき、また明日から頑張ろうと思えた日曜日でした！！